

のるーと稲敷が スタートします！

令和9年1月下旬より運行開始予定！



■AIオンデマンド交通「のるーと稲敷」とは？

…予約状況に応じてAIが効率的な運行ルートを設定する、新しい公共交通サービスです。LINE・専用アプリ・電話から予約でき、指定された「乗降ポイント」で乗り降りできます。

※AIオンデマンド交通運行開始に伴い、「あずまコミュニティバス」は運行を終了いたします。

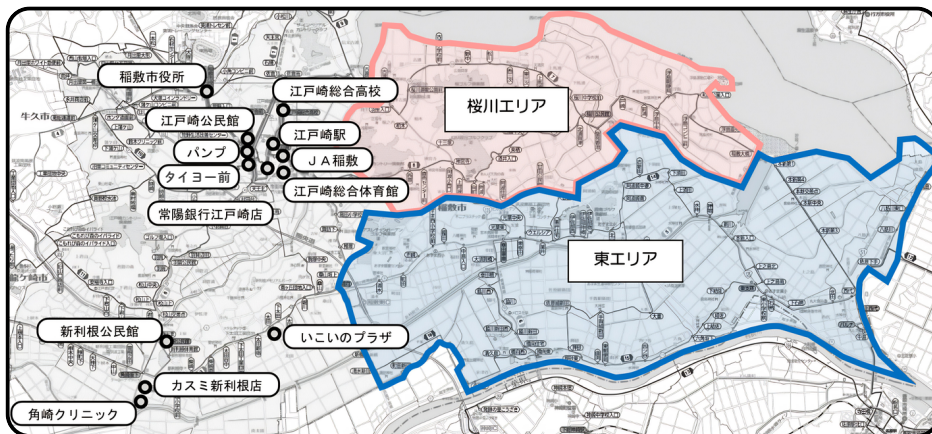


運行エリアについて

エリア内（桜川地区・東地区）で運行します。

エリア内外に**約250箇所**の乗降ポイントを設置予定です。

※エリア外（江戸崎・新利根地区）についても、一部施設を乗降ポイントとして利用できます。



住民説明会を開催します！

※令和8年12月以降も、桜川および東地区の集落センター等で住民説明会を開催予定です。

東地区

日時 令和8年**11**月**21**日（土）（午前10時～午前11時）

場所 **あずま生涯学習センター**（稲敷市佐原組新田1596番地）

桜川地区

日時 令和8年**11**月**29**日（日）（午前10時～午前11時）

場所 **桜川公民館**（稲敷市須賀津208）

AIオンデマンド交通「のるーと稲敷」導入の経緯

1 稲敷市公共交通の現状・課題

稲敷市では、少子高齢化やライフスタイルの変化などにより、公共交通を取り巻く環境が変化しています。また、路線バスやコミュニティバスでは、日中の利用が少ない時間帯があるなど、効率的な運行が課題となっています。

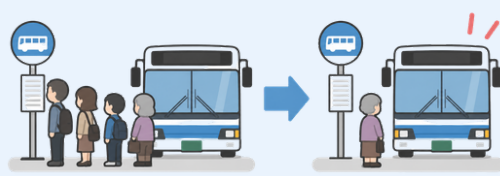
特に、桜川地区・東地区ではタクシー事業者がなく、路線バスなどで対応できる移動手段にも限りがあることから、地域内で必要な移動手段を確保することが難しい「交通空白」の解消が課題となっています。

1



人口減少や小学校統合に伴うスクールバス化による路線バス利用者の減少、運転手不足の深刻化等により、交通手段の維持が困難。

2



利用者の減少や運転手不足等により便数が減少すると、利便性が低下し、さらに利用者が減少する悪循環につながる。

3



子どもや高齢者など自動車を運転できない方の必要な移動手段を確保することが難しい。

4



桜川地区・東地区には、路線バスを補完するタクシー事業者がないため、交通手段の確保も難しい。



2 AIオンデマンド交通「のるーと稲敷」の導入へ

公共交通の見直し方針に基づく取組の一つとして、桜川地区・東地区にAIオンデマンド交通「**のるーと稲敷**」を導入します。

予約に応じて効率的に運行することで、地域の移動ニーズに柔軟に対応し、利便性と効率性の向上を図り、持続可能な公共交通を目指します。

●運行エリアは桜川地区・東地区内となります。

●エリア外（江戸崎地区・新利根地区）の一部施設も乗降ポイントとして利用できます。

※エリア外（江戸崎地区・新利根地区）同士の移動はできません。



※車両デザインはイメージです。